

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取り組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
1	一般	8	3	3	223うるおいある河川・水路の整備	河川事務に要する経費	道路河川整備課			①放流先の河川整備が進まない中で、浸水被害の軽減を図るため、雨水貯留池を整備することが最善の治水対策と考えられるため。 ②最も効果のある場所における貯留池整備に向け、土地の取得を行う。	507	498	6精査・検証	①治水事業を進めていく上で、必要な経費であるため。 ②事務の効率化を図りながら、事務経費の執行を行う。	549
2	一般	8	3	3	223うるおいある河川・水路の整備	雨水浸透貯留に要する経費	道路河川整備課			①浸透施設の整備及び、市民協働事業による過程で手軽に取り組める雨水浸透施設等の設置を行うことで、雨水管及び河川への負担を軽減させる。 ②協働事業により、市民に対し、いかにして雨水浸透施設の普及・啓発を進めるかが課題である。	35	12	6精査・検証	①浸透施設の設置効果は、短期間ではなく長期間において事業を継続していくことで、効果が発揮されるため。 ②浸透施設の普及・啓発を進め、より効果のある取り組みを行う。	40
3	一般	8	3	3	223うるおいある河川・水路の整備	河川・水路整備事業	道路河川整備課	○	○	①流末としての施設の確保及び流下能力の向上等を目的とした暫定改修や、上流域の流末としての機能確保のため50mm/hrの降雨に対応した改修を行う。 ②下流河川の整備の目途がついていないため、50mm/hrの降雨に対応した整備に取り組めていない。	2,784	3,721	6精査・検証	① 治水対策として有効な事業であることから、費用対効果を考慮した暫定改修については実施する必要があるため。 ②整備時期は未定であるが、整備の目途がついた段階で、整備方針等の検討を行う。	1,020
4	一般	8	3	1	223うるおいある河川・水路の整備	河川管理に要する経費	道路河川管理課			①河川施設(調整池、貯留池)の財産、機能の適正な管理を行う。 ②水路(法定外公共物)が国から譲与されたことにより、境界確定や占用許可等の管理業務が増加している。	2,429	2,740	6精査・検証	①河川台帳を整備し、河川のさらに適正な管理を図る必要があるため。 ②河川台帳電子化のための調査を行う。	2,984
5	一般	8	3	2	223うるおいある河川・水路の整備	流域環境整備事業	道路河川管理課	○	○	①河川、水路、調整池の適正な管理を行うため、除草、清掃やパトロールの委託を行うとともに、必要な補修工事を行う。 ②施設の老朽化に伴う大規模な修繕や長持ちさせるための対策。	26,533	34,406	6精査・検証	①法定管理者の責務として機能維持に努めることが必要のため。 ②鎌ヶ谷市の河川等施設に応じた点検方法の制定。	28,474

6	一般	8	3	3	223うるおいある河川・水路の整備	準用河川整備事業	道路河川整備課	○	○	<p>① 流下能力の向上と護岸の保護のための暫定改修や、1時間あたり50mmの降雨に対応した河川の改修を行う。</p> <p>② 河川改修は下流から行うのが原則であるため、現時点で最も効果のある箇所を選定し、将来の整備に後戻りの無いよう実施する必要がある。</p>	366,419	298,396	7拡充	<p>① 浸水被害により、市民の生命・財産に被害が及ぶ恐れがあり、速やかに河川改修を行う必要があるため。</p> <p>② 浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所の選定を行う。</p>	533,515
7	一般	8	3	3	223うるおいある河川・水路の整備	地域排水整備事業	道路河川整備課	○	○	<p>① 地域排水施設の能力不足や未整備であるものについて、下流への影響を考慮しつつ、河川・水路までの施設整備を行う。</p> <p>② 浸水被害の軽減を図るため、道路冠水や浸水被害等のデータを基に整備可能且つ効果のある場所を選定しなければならない。</p>	34,090	130,091	7拡充	<p>① 治水対策として有効な事業であることから、放流先の整備状況や費用対効果を考慮し、事業を進める必要があるため。</p> <p>② 浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所の選定を行う。</p>	84,910
8	一般	8	3	3	223うるおいある河川・水路の整備	雨水貯留池整備事業	道路河川整備課	○	○	<p>① 大雨時における流出抑制のための貯留池整備を行う。</p> <p>② 浸水被害の軽減を図るため、道路冠水や浸水被害等のデータを基に整備可能且つ効果のある場所を選定しなければならない。</p>	126,968	53,224	7拡充	<p>① 放流先の河川整備が進まない中で、浸水被害のデータを基に整備可能且つ効果のある場所を選定しなければならない。</p> <p>② 浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所の選定を行う。</p>	44,074